

ヒメヨツスジハナカミキリ *Leptura kusamai kusamai* Ohbayashi et Nakane

【選定理由】

自然度の高い森林中に生息するカミキリムシで、県内では豊田市（旧稲武町）、設楽町および豊根村（旧富山村）の3カ所のみから知られていたが、最近の生息情報がもたらされていない。

【形態】

体長 12~16mm。中型の細長いハナカミキリ。黒色で上翅には4本の黄色の帯がある。よく似た普通種のヨツスジハナカミキリとは、後肢が細長く、後けい節が湾曲しないことから区別できる。

【分布の概要】

【県内の分布】

豊田市（旧稲武町）（湯沢ほか，1990）、設楽町（竹内ほか，1980）および豊根村（旧富山村）（竹内ほか，1980）の3カ所が知られるにすぎない。

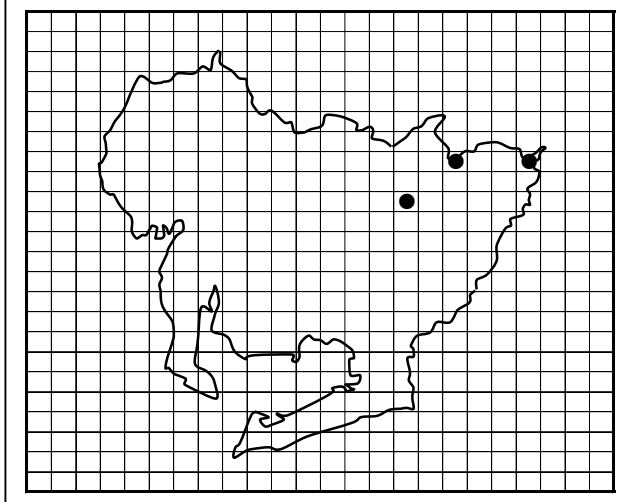
【国内の分布】

関東以西の本州、四国、九州の太平洋側の山地に分布し、四国・九州産は別亜種に分類される。

【世界の分布】

日本の特産種である。

県内分布図



【生息地の環境／生態的特性】

自然度の高い森林に生活している。生息地の多くは太平洋型のブナ林である。成虫は7~8月に出現し、ノリウツギやリョウブなどの花に飛来するが、原生林内の日陰の花を好み、林縁部の日向には見られない。

【現在の生息状況／減少の要因】

1990年代以降の生息情報は明らかに減少している。ブナ原生林の減少と林内の乾燥化の影響が考えられる。

【保全上の留意点】

生息域であるブナ林の面積をこれ以上減少させないことが必要である。現在の原生林の環境を守るため、特に原生林に接する道路では、林縁部の過度な伐採は、林内への悪影響をもたらす危険性が高く、慎重な配慮が必要である。

【引用文献】

湯沢宣久・蟹江 昇・河路掛吾・竹内克豊，1990. 愛知県のカミキリムシ科. 愛知県の昆虫, (上): 389-433. 愛知県.
竹内克豊・原田猪津夫・松野更一，1980. 愛知県北設楽郡のカミキリムシ. 愛知県豊根村の動物: 231-285.

(長谷川道明・蟹江 昇・戸田尚希)